

湖南省かわら版

2026年
6月号

湖がつなぐ縁



↑岳陽楼（がくようろう）から望む洞庭湖。今は満水期に近い。

滋賀県と友好提携を結ぶ湖南省は、全て湖を縁としています。湖南省には、中国で2番目に大きい洞庭湖（どうていこ）があります。かつては最も大きい湖でしたが、土砂の堆積等により、今では約2500km²ほどに縮小したそうです。それでも琵琶湖の約4倍！

洞庭湖は長江につながっていて、満水期には長江からの水が注ぎ込み、渇水期には長江に水が流れていく、まさに自然のダム。そのため、季節により深さも7m〜31mと変化するそうです。また、長江や洞庭湖は古代から今に続く重要な水上の道。洞庭湖の湖畔に建つ岳陽楼は、川の玄関から街を囲む城壁の門の上に建てられた楼閣です。稲作が盛んな点、ヨシ原が広がり水鳥のためのラムサール条約に登録されている点、多くの魚が棲み、淡水魚の漁業が盛んな点など、琵琶湖との共通点多くたくさんあります。

今月のよんこま

湖畔の1枚

洞庭湖に来て、忘れてはならないのが「岳陽楼」。杜甫の最晩年の漢詩『登岳陽楼』でも有名な感慨を味わえます！



く知られています。
昔聞洞庭水
今登岳陽楼

昔から洞庭湖のことは聞いていたが、今まさに岳陽楼に上り素晴らしい景色を眺める、

友好を結んだ湖だと学んでおいて岳陽楼に来ると、杜甫と同じような感慨を味わえます！

